

# 2022 年秋学期 ナイアガラ大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

## 1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

Speaking & Listening の授業では主に教科書のトピックに沿ってクラスメイトと意見交換をすることが多かった。発音を良くするためにいくつかの文章をペアで読む、また、プレゼンテーションのよりよい仕方について深く学んだ。Reading & Writing の授業ではエッセイを書く際の重要なポイントを学んだり、単語を覚えてゲーム形式でクラスメイトと競ったりした。Grammar の授業では、学んだ文法を使って文章を作りクラスメイトと共有したり、カードを使ってゲームをしたりした。どの授業も全体的にクラスメイトと話し合うことが多く、意見を共有する機会が多いと感じた。

授業は十五人前後のクラス編成で分けられグループワークなどが中心に行われました。リスニングの授業では、ほぼ毎授業、テスト形式のような音声を聞くもありました。グラマーの授業は、文法の説明が中心で、クラス全体で問題を解いたり、課題として練習問題をしたりしていました。

Reading & Writing、Speaking & Listening、Grammar、これらの3つの授業で共通していたことは、それぞれの単元が終わった後にスキルテストがあったことです。

スピーキング&リスニング:教科書の内容に沿ってリスニングを行い、そのトピックについてクラスメイトや先生と会話をした。プレゼンが2回あった。

リーディング&ライティング:教科書にある長文を各自解き、答え合わせをする。また、エッセイの書き方なども授業内で取り扱われた。グラマー:最初に先生が文法について解説をし、その後問題演習やグループワークなどを行った。

外大のように、スピーキングリスニング、文法、読み書きがありました。9:30~16:30の授業で2時間の授業が3コマありました。

スピーキング&リスニング、グラマー、ライティング&リーディングの3つの授業で構成されており、どの授業もただ先生の話聞いてノートをとるだけでなく、主にディスカッションをして生徒同士で自分の意見を交えることが多かった。

リーディング&ライティング、グラマー、スピーキング&リスニングの3教科に分かれており、もちろんオールイングリッシュでの授業でした。クラスメイトの他の国から来た留学生と話し合って答えを導くと言う授業が多かったです。指名制のクラスと自主的に発言するクラスと大きく分けられました。先生からの説明を聞いたり、話し合ったりといった進め方でした。

授業形態はディスカッションが多く、話すことがメインのものが多かったです。座学では先生のパワーポイントをスクリーンで写して学んでいました。

シラバスの様なものが配られるがあくまでも予定であり、その通りには授業は進まないことが多い。

授業の形態は主に参加型でした。ただ座って聞くのではなく積極的にディベートやプレゼン、授業内の発言によるものでした。母語でない言語を習得するには新しい知識を使って覚えることが大切であり、毎回の授業で自分の新しい知識を試す機会がありました。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

クラスの人数は約15人で、日本人は2人だった。留学生の出身国は、韓国、中国、ベトナム、ヨルダン、イラン、コロンビアだった。

クラスの人数は17人でそのうち4人が日本人でした。留学生の出身国は、中国・韓国・ベトナム・ブラジル・コロンビア・メキシコ・モンゴル・イラク・モリタニア・ジョーダンでした。

クラス人数は自分を含め16人です。日本3、中国1、韓国1、ベトナム1、シリア1、ヨルダン1、モンゴル1、ウクライナ1、コロンビア3、パナマ1、ホンジュラス1、メキシコ1

10、7:3、韓国、コロンビア、チリ、ベトナム

クラス人数:14人 日本2、中国2、韓国1、ベトナム2、イラン1、ヨルダン3、コロンビア2、ペルー1

日本人 3 人、韓国中国ラテン系やロシアなど、7 カ国

ひとクラス 16 人でその内日本人は 4 人、コロンビア、メキシコ、ブラジルなどスペイン語を第一言語とする人たちがクラスの半数であり、その他ベトナム、モンゴル、韓国、中国、ヨルダン、から各 1 人ずつくらい。

クラスの人数は約 19 人でした。途中でクラスが変わったり途中からくる生徒もいたため正確にはわかりません。国はベトナム、韓国、中国、イラク、モルタニア、メキシコ、コロンビア、ブラジル、モンゴルでした。

日本人が 3 人と他アジア圏の生徒が 7 人、南アメリカ大陸圏の生徒が 6 人でした。アジア圏の生徒は国も言語もバラバラで年齢は私と同じくらいでした。南アメリカ大陸圏の生徒は皆母国語がスペイン語で家庭を持っている方達でした。

16 人程度 日本人は私含め 2 人中国 韓国 ベトナム タイ ベネズエラ ヨルダン ジョーダン イラク ウクライナ

クラス:12人 比率: 留学生の出身国:日本、ヨルダン、ウクライナ、メキシコ、韓国、ベトナム、イラン

#### クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

授業中は、自国について詳しく知っている人が多く、積極的に発言する人が多いと思った。そのため、さまざまな意見を聞くことができ、授業がよりスムーズに進むことが多かったと感じた。また、自国で起きていることに対し、自分の意見を持ち、発言して日本人はあまり発言しないためその点が異なると感じた。日本人は文法が強く、日本人以外の留学生はスピーキング力やリスニング力が優れていると思った。日本人以外は、文法をあまり重要視せず自分の意見を伝えることに重点を置いていると思った。クラスメイト同士でお互いの弱いところ(文法やスピーキング)を教え合い、助け合うことができたと思う。

日本の授業とは違い、生徒が先生に当てられる前に自分で発言することが多かった。また、グループで考えることも多く、それをクラスの前で発表する機会が特別なものではなく、よく授業でそのような活動が取り入れられていました。

クラスの雰囲気は日本の授業と比べると、賑やかでした。日本では授業中に先生に質問することが多くないと思います。しかし、カナダでは、分からないことは積極的に先生に質問していた印象で、そこが違う点だと感じました。また、他の学生は学ぼうとする意欲が高かったと思います。

日本の授業と違って生徒は基本的に自由に質問や発言をすることができる。それに伴ってにぎやかな雰囲気、日本よりフランクな印象があった。

みんな積極的に自由に発言できる、スナックを授業中に食べていい文化は驚いた。

自分の意思をちゃんと持って、積極的に授業でも発言をしていた。また、内気な人が誰もいないので、わからないところは授業を中断してでも先生に質問していた。それぞれ文化が違うため、授業内で意見が噛み合わないこともあったが、どんな意見でもまずは受け入れてくれる風潮があり、お互いの文化を尊敬しあっているように感じた。

みんなが同じぐらいのレベルなのでお互いスピーキングにまだ自信がない部分がありますが、英語でしか繋がれないので、お互いわかろうと努力しながら聞いたり、わかりやすく話すことを心がけたりしました。国の特色について話し合う授業では、各国の違いが顕になり話が盛り上がりました。皆とても優しくフレンドリーでした。

クラスは明るく和気あいあいとした雰囲気でした。日本の授業とは違い先生と生徒の距離が近いのが印象的でした。

お題や質問を先生から与えられると一斉に話し出す。誰かが話しているから待つなど基本なく、良い意味で積極的な人しかいなかった。

全員が活発で積極的に発言するクラスでした。話し合い等の授業活動では話さない子がいないような良いクラスで勉強をすることができていました。

日本と違う面は、発言の多さと発言のしやすい環境です。学生と教師の距離が近くわからないことがあれば躊躇せずに質問できる環境が整っていました。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

テクノロジーに関するトピックが印象に残っている。テクノロジーが発展することによっていい面もたくさんあるけどそれによって引き起こる悪い面もあって、それを解決するためにどうするべきかをより深く学んだ。また、グループディスカッションで行ったテストでもテクノロジーについて「飛行機の環境への影響」を話し合った。例えば、一度に多くの人が搭乗できることや国境を超えてさまざまな物を輸出入することが容易であることなどのいい面がある反面、地球に悪影響を及ぼす排気ガスが排出するといった悪い面もあるという意見が出た。他にもドローンやインターネットの普及などによる問題について学ぶことができた。

授業内で取り上げられたトピックは、自分たちの身近な話題が多く身近に感じたので考えやすかった印象があります。その中でも、留学の目的、留学の利点について話し合ったときは、一人では思いつかなかったことを知ることができ、視野を広げるきっかけを作ってくれたと感じています。

印象に残っているトピックは、Reading & Writing の授業で挙げられた「長生き」についてです。

各国の文化。

「あなたの人生における成功とは何か」というトピックが最も難しく、とても印象に残っている。日本語でもうまく答えられなさそうなことを英語で答えなければならず、このトピックを扱った日だけはまともに喋ることができなかった。他のクラスメイトはしっかりと自分の意見を話していたため、自分の人生について真剣に考える機会にもなった。

移民の国なのでその問題や、移住するに至った経緯をクラスの友達から聞いたのが印象的だった。宗教の話も興味深かった。

カナダと自国の違いについて話し合いをしていて、クラスみんなは自分の国についてたくさんを知っていた。自分ももっと日本のことを他の国の人に伝えられるように知らなければならぬと考えるきっかけになった。その授業ではカナダだけでなく色々な国の文化の違いを知ることができてとてもおもしろかった印象が残っている。

ヘリコプターペアレントについての授業です。日本で言うとモンスターペアレントと思いますが、国によってどんな違いがあるのかと言う話をしました。そもそも日本ではモンスターペアレントという言葉の名前の違いを知りましたが親の過保護さはどの国も変わらないようなものでした。

印象に残っているトピックはハロウィンの歴史について学んだことです。ハロウィンを楽しんでいましたが、歴史までは知らなかったのでも面白かったです。歴史を知った上でのハロウィンはさらに楽しむことができました。

世界各国のトイレについてのトピック。その中でも日本の和式は珍しいらしくまた、面白いと感じた様で説明するなど色々面白かった。

リーディングの授業で行った現地の歴史についてのトピックです。ちょうど授業日の数日後現地の歴史的記念日があり、その日の歴史についてのリーディングを行いました。ただ読む練習をするのではなく、その国についても学ぶことができ、とても良い勉強となりました。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

クラスメイトと意見を共有する際に、クラスメイトの意見を理解し、自分の意見も伝わりやすいように発言することを心がけた。相手が知らないことは実際に写真を見せたり、例を挙げたりして伝えるように努力した。特にスピーキングとリスニング力が足りないので一つ一つの授業を集中して取り組むことを心がけた。先生が言った重要なポイントの部分をノートにまとめたり実際に言葉にしたりすることで少しずつ力をつけることができた。また、クラスメイトとわからないところを教え合うことによってお互いに補い合うことができ、また、先生からのアドバイスも聞き理解できるように努めた。

プラスで出された課題は必ず次の授業までに仕上げているようにしていました。また、どの授業でも積極的に参加・発言するように心がけていました。

分からなかった部分があった時に分からないままにするのではなく先生に聞くようにしたこと。

復習。自分が当てられてなくても、すべて頭の中で考えていた。

積極的に授業に参加すること。多くのクラスメイトが自分の意見を我先にと話していたため、それらに埋もれないように自分も頑張って発言するようにした。

積極的に発言して、ペアワークでは外国人の方と組んでずっと英語の環境にいるようにする。

他の国の生徒と同様に、積極的に発言をしたり、わからないところはすぐに聞いたりした。また、クラスの日本人と離れ、他の国の人たちとパートナーを組んでプレゼンに取り組み、英語を話せる機会を自分で作るように工夫した。

努力していたのは、国によって英語にも大きな訛りがあって同じ言語を話しているはずなのに通じないということが多かったので訛りも理解しながら聞

くと言うことを努力しました。工夫していたことは自分から積極的にコミュニケーションをとる、授業で発言するということです。

クラスの皆がたくさん発言する人ばかりだったので、私もみんなと関わるために積極的に行動するように努力しました。

意見や感想を言うにも理由を必ず聞くクラスメイトがほとんどなので常に理由を詳しく話せるように考える事が少し大変だった。Yes, No だけでは終わらなかった。

海外の方々はみんなノートの取り方が上手です。私は今まで先生が黒板に書いたものをそのまま映すことしかやってきませんでしたが、現地では先生が黒板に書くのは重要なポイントや単語のみで映すことはゼロでした。その代わりに単語の意味や自分の意見などは自由にノートに書き込みます。現地の子のノートを見て自分なりにノートを取ることを心掛けていました。

## 2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの人でしたか。
0人	-
1人	台湾、メキシコ
2人	デンマーク、台湾、ブラジル

通学手段	通学時間	主に食事はどこでとっていましたか。
徒歩	0-15分	ホームステイ先
バス	0-15分	ホームステイ先
徒歩	30-45分	ホームステイ先
バス	30-45分	ホームステイ先

部屋に用意してあったものは何ですか。
ベッド、勉強机、荷物棚、服を収納する棚
勉強机、ライト、ベッド、洗濯用のかご、ハンガー
ベッド、椅子と机、ハンガー
ベッド、机、クローゼット、ソファー。
ベッド、枕、薄手の毛布、机、椅子、棚
ベッド、デスク、クローゼット
ベッド 机 イス ライト 扇風機
机、ベッド、クローゼット、大きな鏡など暮らすのに必要なものは用意してありました。
ベッドと勉強机、収納棚とクローゼットを用意してくださっていました。
ベッド 机 椅子 本棚 クローゼット
ベッド、机、タオル、ブランケット

自分で用意したものは何ですか。

生活必需品など

消耗品以外は特にありません

タオル、洗面用具

シャンプー類

自分で用意した家具はない。

服、パソコン、化粧品類、サニタリーグッズ

スリッパ ティッシュ 鏡 ドライヤー タオル類

ドライヤーやシャンプーリンスなどの消耗品のみです。

服の毛玉を取るために粘着カーベットクリーナーだけ自分で用意しました。その他生活に必要なものはホストファミリーが用意してくださっていたので、不便なことは全然ありませんでした。

ドライヤー ヘアブラシ 化粧品 コテ

ヘアドライヤー、ヘアアイロン、シャンプー等

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸感ったこと、驚いたこと。

お風呂に入る際、湯船に浸からずシャワーのみだったので最初はあまり慣れなかった。冬の寒い時期、シャワーのみだと寒いと思っていたけど暖房が常についていたのでお風呂を出た後も寒くはなかった。食事面では、パンやパスタなど小麦類が主食になることが日本にいる時と比べて多かった。夜の過ごし方は、日本ではリビングで家族みんなが過ごしていることが多いけど、ホームステイ先では各自部屋でいることが多かったと感じた。私のホームステイ先に地下があって、最初は驚いたけど、友達のホームステイ先に行った時ほとんどの家に地下があったので、カナダでは珍しいことではないのだと思った。

私は湯舟がなくシャワーだけで済ませることに少し戸惑いました。

日本と違った部分ではないですが、動物と暮らしたことがなかったので、そのペットへの接し方に戸惑いました。それ以外の部分では特に戸惑った部分はありませんでした。

くつを脱ぐ境目が明確でないので、靴を脱がずに行動する家族もいた。シャワーは家族の人は翌朝に浴びていた。

シャワーしかないこと、洗濯が週1回だったことくらいです。

カナダの夕食の時間が早いことに驚きました。17-18時が多く、ホームステイ先によっては16時のところもありました。

朝食と昼食は基本質素だった為お腹がよく空いた。夜ご飯は大量に作り、次の日のランチに持っていくことがほとんどだった。シャワーは10分。

ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

英語力を伸ばすために、自分の部屋にずっといるのではなく積極的にホームステイファミリーと会話することが大事だと思った。英語力を伸ばすだけでなく、気になることを聞いたり伝えたりすることでいろいろな情報を聞き、また日本のことも教えることができるいい機会だと思う。また、ルームメイトがいたら、学校に行くときや家で、お互いの国について話したりすることも楽しく過ごすためにいいことだと思った。また、ホームステイ先で戸惑うことがあったらお互いに相談することで助け合うこともできると思う。わからないことがあったら自分だけで解決しようとせず、ホームステイファミリーに聞いてもらって落ち着いて解決することが大切だと思う。

ホストファミリーとのコミュニケーションを大切にすることが一番重要だと思います。できるだけ一日一回は話すように心がけていました。

ホームステイの場合は、ホストファミリーと積極的にコミュニケーションをとることが1番快適に過ごす方法だと思います。

自室が寒い時があるため、厚手の靴下やインナーなどで寒さ対策をしておくとい。

ホームステイでは家族の輪に入るように、積極的になんでも参加して家族との時間を大切にするとカナダの文化にも触れられた。

自分に必要なものはちゃんと全て用意しておくことです。ホームステイ先はご飯をある程度聞いてくれますが決められるわけではないので、日本食をたくさん持っていくことをお勧めします。

積極的に話しかけることが大切だと感じました。自分から話しかけることで現地の文化などをより深く知ることができました。

コミュニケーションが1番大事。食事や何か誘われたらまずは断らないで参加する。交友関係が広がったりするため

コミュニケーションをとる。帰りが遅くなる場合や御飯がいらぬ場合などは必ず連絡を入れる。時間がない日でも一言は会話をする。

パソコンは 持参しましたか	インターネットは部屋から 接続可能でしたか。
はい	LAN ケーブルで可能
はい	ワイヤレスで可能

携帯電話は 持参しましたか	利用方法
はい	日本から SIM カードを持参
はい	留学先で SIM カードを購入
はい	日本の携帯をそのまま持参

#### 大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。

大学主催のイベントは主に休日は、トロントに行ったりナイアガラの滝に行ったりとバスで観光地に行くことが多かった。なかなか留学生だけでは行くことが難しい所も大学側がピックアップして連れて行ってってくれたので、いろんな場所に行けて良い経験ができたと思う。また、ハロウィンやクリスマスの時にはパーティがあってみんなでゲームをしたりご飯を食べたりした。特に Thanksgiving Day は、初めてのことだったのでその歴史や食べ物について知ることができた。放課後のイベントでは映画鑑賞やイルミネーションを見に行った。イベントに参加することで、クラスメイト以外の人も交流でき、コミュニティを広げることができた。

ナイアガラ大学は大学主催のイベントが多かったと思います。ほぼ毎週何かのイベントがあり、それには事前に登録するだけで、学生は自由に参加することができたので、私はほとんどのイベントに参加しました。大学周辺は都会ではなかったのでできることは限られていましたが、イベントでトロントやナイアガラの滝周辺まで連れて行ってくれることもたくさんあったので充実した休日を過ごせたと感じています。

大学のイベントに参加しました。例えば、アイスホッケーを観に行く、パレードに参加する、テーマパークに行く、などです。

毎週末大学主催のイベントがあり、それにほとんど毎回参加した。スポーツ観戦やトロント観光など、通常多額の費用が掛かるところを無料で行くことができた。地域のイベントにもナイアガラ大学の学生として参加した。

大学のイベントが金曜日と土曜日にあったのでほぼ全て参加して様々な場所に行ったり、スポーツを外国人の方としたりした。

毎週金曜日と土曜日は大学のアクティビティがあったため、クラスでできた友達と一緒に応募して参加していた。また、そこで出会った人たちと友達になり、放課後は一緒にご飯を食べたり、パーティをしたりして過ごした。

イベントに参加しました。毎週金、土曜日は必ず何かしらのイベントがあり、それに参加することで新たな経験を得られました。

大学主催のイベントでトロントやナイアガラの滝に行くことができ、沢山の観光スポットを訪れることができました。また、学内のフィットネスが無料で利用できたので、週 1.2 回ほど利用していました。

金曜日、土曜日はイベントがあったので毎回参加していた。ほとんどのイベントは授業料込みな為申込みのみで参加ができる

大学には様々なイベントがあり、休日はイベントで家を空けることが多かった。新しい出会いもあり、友達を作るきっかけになりました。イベントがない日はクラスの友達と遊びに行きました。

#### 学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など

学内では、週に数回ジムを使用した。ランニングマシンやフィットネスバイク、チェストプレスマシンなどのトレーニングマシンが多数置いてあった。私自身はランニングマシンを使用することが多く、たくさんの生徒が利用していた。また、各クラスの何人が生徒が集まって体育館を利用してバスケットボールもした。違うクラスの人たちと交流もできたり、なかなか体育館を使ってスポーツすることがなかったので使用することができてよかった。学校の近くにあるショッピングセンターの Seaway Mall をよく利用した。日用品や服などが多数置いてあったので、必要なものがある時はそこで買うことが多かった。

学内では学生の食堂とラーニングcommonsを主に利用していました。そこでは昼食をとったり、テストの勉強や課題をしたりしていました。また放課後は近くのショッピングモール(SEAWAY MALL)などを利用していました。またバスに乗って1時間くらいでセントキャサリンズという少し都会のところに行ったり、ナイアガラの滝周辺で食事をしたりなどもしていました。

近くに河川敷があったのでその辺りをよく散歩していました。後は、Food Basics というスーパーマーケットに行ったりしました。

近所のスポーツバーをよく利用した。ランチタイムにも営業しており、お酒がなくても楽しめた。

ティムホートンと言うカフェや、小さいモールによく行った。

夜まで学校で勉強したり、おしゃべりをして過ごした。ほとんど店がなく、終バスもはやいため、開いているお店は Timhortons、McDonald などのファーストフード店が学校近くのバーを利用していた。

平日の自由時間は友達と話したり、買い物に出かけたりしました。休日は学校のイベントが充実していたので、イベントに参加することがほとんどでした。

ティムホートンと言ってカナダにはどこにでもあるチェーン店で安いのでよくドーナツコーヒースンドイッチを買いに行った。

学校ではカフェテリアによく座って話をして過ごしていました。また、学校の近くにあるバーに行き、クラスの子と過ごすことも多かったです。

### 3. 留学前準備について

#### 留学前に取り組んだ準備

留学前に取り組んだ準備は、まず参考書で英語の表現や文法を勉強した。留学先で英語でコミュニケーションをとる時に多くの英語の表現を知っておいたほうが役に立つと思ったから。参考書以外にも、空港やホームステイ先など場面別で使える英語の表現を調べて勉強した。事前に勉強していたので、戸惑うことなく受け答えできたことが多かったと思う。文法を勉強したことで、授業中により理解することができた。今までに習った文法も忘れていたことや理解できていなかったこともあったので復習して行ってよかったと思う。また、留学先でいろんなところに行ってみたかったので、観光地やその周辺を留学前に調べた。

留学前にまず TOEIC を受験し自分のレベルを知りました。それから、単語の勉強や日常生活で使えるフレーズを調べたりして、留学先で活用できるよう準備していました。

文法に重点を置いて勉強しました。

オンライン英会話

毎日何らかの形で英語を聞くようにした。また、iPhone の言語設定を英語に変えた。

自分の英語力を測るため、初めて TOEIC を受け 650 点をとった

その前に中国でのオンライン授業があったため、ほとんどできていなかった。とりえず使えるようなフレーズやスラング、学校では学べないがスピーキングでは必要になるフレーズをメモして覚えるようにした。

留学前は洋画を見たり、英文法の基礎を振り返ったりして毎日英語に触れるようにしていました。

オンライン英会話など会話中心に勉強していた。

単語の勉強。文法も大切だけれど単語がわからないと文法に使う単語もわからない。まずは単語の知識を増やすことを努力しました。

### 留学前にしておけばよかったと思う準備

海外の人たちは自国について詳しく、自分の意見を主張する人が多かったので、もっと日本について詳しく知っておくべきだったと思う。日本のさまざまな制度や文化について質問されることも多く、また、日本のアニメや歴史に興味がある人が思ったよりも多くいて、もっと説明できるようにしておけばよかったと思う。リスニング力を鍛えるために、もっと洋画をみたり YouTube で動画をみたりしておいたほうがもっと英語の生活に慣れるまでに時間がかからなかったと思う。

英語だけでなくほかの言語に興味を示していればよかったかなと感じています。(実際現地の人だけでなく、留学生と話す機会が多く、留学先で留学生から新しい言語を覚えてもらうこともあったからです。)また、海外の映画、日本のアニメ、日本の文化など自分が詳しく話せる引き出しをもっと持っていればよかったと思っています。

発音の練習、英単語の勉強です。

英語の勉強

英単語をもっと勉強しておくべきだった。啾嗟に適切な単語や表現が出てこないことがあった。

中国語留学で半年以上英語の勉強をしていなかった為、もっと英語に触れるようにラジオや映画をみていればよかった。

自分の国について他の国の人たちに紹介できるように調べること、相槌やフレーズを覚えること、リスニングをもっとしておくこと。

日本の歴史や文化についてもっと深く知っておくべきだと思いました。他国の方達は自国の文化や歴史について詳しく知っている人ばかりで、日本に誇りが持てるほどの知識が必要だと感じました。

日常会話に使えるフレーズやイディオムを覚える。

英語の勉強、単語や文法

### 日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの

ホームステイ先に日本からのお土産として日本のお菓子や、扇子、日本の有名なものの絵がかかれたハンカチを持って行った。到着した次の日に渡して、お土産を通して話ができて、その時に少し打ち解けることができたのでよかった。日本のインスタントラーメンを持って行って、休日に食べることができたり、また、ルームメイトにあげると喜ばれたので持って行ってよかった。持っていたドライヤーが日本国内専用のものであったので、変換プラグを持って行って役に立った。

日本の使い慣れた文房具、ファイルなどは重宝しました。また、洗濯は毎日できるわけではなかったので消臭剤は個人的に持って行って良かったなと思っています。

インスタントの味噌汁

お茶を立てたら喜んでくれた。

洗い流さないトリートメント、長めの充電コード

日本のお菓子、抹茶、調味料など

日本のお菓子、お箸などの食器類、お茶

カップラーメンや白米歯磨きを入れるコップ折り畳み傘ヒートテックコロコロ除菌シートはあると便利だと思います。

海外のものは体に合うかどうか分からず、心配点が多いので、薬類は日本から多めに持って行って正解だったと思います。

お湯で作れる味噌汁。カップ麺。ジップロック。水筒。電子辞書。

日本のお茶やお菓子など消費のできるもの。小さい子がいるお家だと折り紙も喜ばれると思います。

#### 日本から持っていく必要のなかったもの

洗濯機を使った後、乾燥機を使うので洗濯バサミはいらなかった。

ハンガーを余分に持っていきましたが、たくさん用意してくれていたのでも必要ありませんでした。また、カナダには日本のハックキンのようなお店が様々なところにあるので消耗品はこだわりのあるもの以外持っていく必要はなかったなと感じています。

予備の歯磨き粉など、

洗濯用洗剤

ドライヤー、夏服(数着でよい)

たくさんさんの夏服、カイロ

私は8月末から12月にカナダ留学だったので夏服をたくさん持っていく必要はなかったと思いました。

シャンプー

勉強道具。念のため単語帳などを持っていきましたが学校での宿題などがあり、使わずに終わりました。

#### 日本から持参すればよかったと思ったもの

冬物のタイツやマフラー

ポケットティッシュ

出汁

冬服、体育館で使える靴、カップ麺、パックご飯

防寒具(マフラー、手袋、ニット帽)、料理をするための調味料

寒さに対応できる上着、その他使えそうな教材、スーツケース2個(一つしか持って行ってなかったので必要最低限のものしか持ってこれなかった)

白米、日本食、お箸、あとはカルチャーシェアリングがあったので浴衣などがあると盛り上がったかもしれません。

カナダの冬はとても寒く、洗濯は週に1回だったので、冬のインナーは多めに持っていくべきと思いました。

お出かけ様の小さな靴

フード付きのジャンパー。寒い国ではフードが必須でした。別で帽子を持っていくのではなく、いつでもかぶれるようなフード付きのパーカーやジャンパーがあるととても便利です。

#### 4. 留学費用について

##### お金をどのように準備しましたか。

クレジットカード、現金

クレジットカードを三枚用意し、また現金も準備していきました。カードの上限で困っている学生もいたので、この準備は良かったと感じています。

クレジットカードと現金を引き出せるようにプリペイドカードの2枚を持っていった。無くしてもどちらかは使えるように一枚だけを持ち歩くようにしていた。

クレジットカードと現金です。

現金とクレジットカード2枚用意していきました。

クレジットカード、プリペイドカード、現金

クレジットカード、現金を用意しました。友達と割り勘をする場合や先に支払ってもらう場面が多く、その場合はキャッシュで返すので思っていた以上に現金をつかう場面が多かった。

現地で支払った住居費と食費を教えてください。

お昼ご飯代に平均 10ドルぐらい使いました。

食費(外食)が月に約 25,000 円かかった。

ホームステイ費は不明で、外食費は月に 1.5~2 万円くらい

現地で支払ったのは月 3~6 万円くらい外食費に使いました。

事前に関西外大に住居費・食費を払っていたため、現地で支払わなかった。外食の際に食費は週に 10-50 ドルほどだと思います。週末などに友達と外食に出かけると気持ち高めでした。

テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。

Grammar のテキストだけ中古の本を買ったので約\$35 だった。Speaking & Listening と Reading & Writing のテキストはもらった。通学費は、1ヶ月の定期が\$85 で、4 回購入したので合計で\$340 だった。

テキスト代は学校で中古を買ったりしたので全部で1万円、通学日は月9000円くらいかかったので約3万円くらいです。

テキスト代は 3 冊で約 300 ドル

テキストは現地に日本人にいただいた。通学費は 1 ヶ月 85 ドル

テキストは全てルームメイトから譲ってもらったため無料で手に入れた。徒歩通学だったため通学費も無料だった。

テキストは 160 ドル、通学のバスは 300 ドル

テキスト代は新品で買うと一冊 10,000 円。しかし、3 冊必要だったため中古や借りた物も含め 20000 円ほどに抑えることができた。1 ヶ月だけバスを利用したため、定期代 8500 円

テキスト代は 3 冊で 20,000 円ほどで通学費は月 86 ドルかかりました。

通学費 0 円 テキスト代 2 万円ほど

テキスト: 約1万円【二冊】 通学費: バス一か月 8500 円(乗り放題チケット)

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

学校主催のトリップと自分達で計画を立てて行った旅行は合計で約\$1000。その他日用品や衣服、食費は合計で約\$3000。

1週間の休暇で言った旅行では約10万円、買物はあまりしていませんが4か月で3万円前後だと思います。

12万

衣類に約 10 万円かかった。

旅行や外食、買い物費用は全部で約 15 万円くらいかかった。

ほとんど服を持って行っていなかったため、80,000 円ほど。旅行や遠出するのに 100,000 円ほど。

洋服代とお土産代にお金を使いました。前半は洋服に月 1~2 万円使いました。お土産には 3 万円くらい使いました。旅行では食費、交通費、宿泊費全て含めて 10 万円使いました。

旅行で 10 万円ほどかかり、お土産や買い物で 5-10 万円ほど使ったと思います。

3 ヶ月で 14 万円ほど

## 5. 学習面について

### 語学力・コミュニケーション能力の自己分析

語学力は、学校やホームステイを通して特に日常生活で使う言葉を多く学ぶことができた。学校の教科書では習わない表現も多く使われていて、友達同士や、またお店などでコミュニケーションをとる際に役に立つ表現をたくさん学ぶことができた。留学先ではわからないことが多く、現地の人に教えてもらう機会がよくあったので、場面ごとの質問の仕方も習得した。最初は綺麗な英語の表現で伝えようと調べたりすることもあったけど、自分の英語力で理解してもらえることも多く、自信に繋がった。留学先国では親切な人が多かったので、わからないことがあっても優しく教えてくれて積極的に話すことができ、英語力も上達したと思う。

私は自分から話しかけることが苦手でしたが、留学先で友達を作るには自分から話しかけるしかなかったのでコミュニケーション能力は上がったと思います。また、語学力も自分の言いたいことをすぐに英語で伝えられるようになったという点で成長できたと感じています。

語学力に関しては、留学前に比べると話せるようになり、聞き取れるようになったと思います。コミュニケーション能力もまだまだ不十分ですが、前に比べると成長したと感じています。

かなり伸びた。

留学を通して語学力は全体的に向上したと思う。特にスピーキング力については、留学前に比べて表現の幅が広がった。コミュニケーション能力については、日本語を話しているときと英語を話しているときとで差はないように思えた。

語学力は格段に上がったと感じる。難しい単語を使うことはできないが習った単語や文法を使ってホストファミリーに話をするようにした。言葉のキャッチボールがスムーズに行えるよう間違ってもとにかく挑戦した。

リスニング力はまだまだと感じることがある。長ければ長いほど集中力が途切れてしまうこともある。コミュニケーション能力では、たった4ヶ月ではあるが、今では英語で日常会話ができるレベルになり、自信を持って話すことができていると実感する。実際に、日本でも海外の人が困っているのを見つけた時、自分から話しかけて助けることができた。

語学力、コミュニケーション能力ともに上がったと思います。授業で使う単語や覚えなければ単語よりも実践的に普段使う言葉を身につけられました。特にレストランなどでの注文やホストマザーにしたいことを伝える時など、生活に必要な単語やコミュニケーション能力が特に向上したと思います。

語学力・コミュニケーション力は上がったと思います。この4か月で上がった英語力の日本でいかに維持できるかが大切だと思っています。

完璧な文法でなくても最後まで話し切ることを意識していたら少しはリズム良く話せるくらいまで成長できた。一人旅などしたが語学力の問題で困らない程度だった。

語学力は新しい単語や文法などのレベルが上がりました。コミュニケーション能力では、自分から積極的に話ができるようになりました。英語を使う抵抗が少なくなった気がします。

### 留学前の目標とその達成度

留学前は、英語で日常生活をできるようにすることが目標で、自分のクラスメイトの人と日常会話をするので目標を達成できたと思う。また、日本との文化の違いを知りたかったので、学校やルームメイトなど友達と話すことによって様々な国の文化を知ることができ、日本との違いを見つけることができた。留学する上で、観光地に行っている人などを見てみたいと思っていたので、学校のイベントや旅行を通して多くの場所に行くことができてよかった。ホームステイでは、海外の食事や普段の生活の過ごし方などを学びたかったので、ホームステイ先で生活をする上で学ぶことができ、目標を達成することができた。

留学前の目標は留学先でたくさんの友人を作り、コミュニケーションをとること、最終成績を85%以上にすることでした。留学が終わった今を振り返ると、クラス内では毎日いろいろな国の友達と話し、コミュニケーションをとるために試行錯誤できたことは良かったなと思います。また成績もすべての教科で90%近くとることができたので留学前の目標を達成できました。

留学前の目標は、積極的にコミュニケーションをとるでしたが、もう少し積極的にコミュニケーションを取るべきだったと感じています。

すべて達成できた。留学後新しい目標ができた。

留学で多くの人と関わることで外交的な人になることが目標だったが、なかなか自分のパーソナリティを変えることはできなかった。
外国人とずっと話す環境にいたことが無いから初め不安はあったが、その不安を打ち消すほどたくさんの人と話ができたので達成度は高いと感じる。
日常会話ができるほどのコミュニケーション能力の習得、発音、そしてリスニング力の向上。自信を持って話せるようになったためコミュニケーション能力の向上は80%くらい。発音と、リスニング力は4か月では足りないと感じた。
留学前の目標は単位を取ることでしたが無事達成できました。80%以上が目標でしたが、1教科だけ79%で悔しかったです。
留学前の目標として、自分の意思をはっきり持つことを掲げていました。日本にいる時はつい人の意見に合わせがちでしたが、クラスメイト皆自分の意思を大切にしている、自身の意見に間違いなどはないということを実感しました。
自分から話かけてくるのを待たない事が目標だった。その結果次第に交友関係が広がった。
留学前は世界中の友達を作り楽しい留学生活を送ることでした。留学中は想像以上に様々な国出身の友達を作ることができ、毎日が本当に充実していました。達成度 150

### 留学を通しての成長ポイント

留学を通して日常会話で使う表現をたくさん学んだので、生活をする中で場面ごとに使う言葉をあまり混乱することなく言えるようになったと思う。学校の授業では、人前で伝わりやすいように発表する仕方、エッセイの書き方、文法など英語を学ぶ上で大切なことを学び英語力を向上させることができた。ホームステイ先では、海外で住む上で日本と違う点が変わり、自分なりに工夫して住むことができたと思う。問題があった時、日本とは異なる対応がされていたときは現地の人に聞いたり、調べたりして解決することができ、海外のさまざまな制度についても学ぶことができた。文化やマナーも異なる部分があって、理解を深めることができた。
私が一番成長できた点は、英語で話しかけることに物おじしなくなったことです。まだ英語がネイティブのようにすらすら言えるわけではなく、聞き返されることもありましたが、それでも萎縮せずはっきりと話すことで相手にも伝わる英語が話せるようになりました。
他人を気遣う力です。例えば、留学前は他人のためにドアを開けるということをあまりしてきませんでしたが、留学中にそのような行動をしている人を多く見かけて、自分もするべきだと感じさせられました。
感受性豊かになった。視野が広がった。
留学先でのいろんな人との会話を通して自分の意見をはっきりと伝えられるようになった。また、班長の経験から周りをよく見て気を配れるようになり、責任感も強くなった。
コミュニケーション能力とスピーキング力はとても向上したと思う。例えばペアワークをする際に、外国の方に英語で通じるように説明しなければならない面で、どう伝えたらしっかり理解してくれるのかを考えて話した。日本人としないように、外国人の友達を作って英語を話す環境を作っていました。
忍耐強さ、挑戦を恐れないこと、自信を持つ力が身についた。まず、ホストファミリーの問題で、私は問題を自分自身で解決できるように諦めずに行動した。自分の英語はそんなに上手ではないことはわかっていた。しかし、文法を間違えることを恐れず、とにかく話してみる、挑戦してみることを目標にし、間違えたところはメモをして次に活かし経験を積み重ねるよう努力しました。そしてその経験は、自分に自信を持つことに繋がった。
リスニング力と自分の意見を伝える力が身につきました。どうしても日本にいたら日本語ばかりの生活ですが英語で生活しなければならないので英語を頑張って聞かなければいけません。そのため、リスニング能力は特に向上したと思います。また、海外の人は自分の意見をはっきりと伝えるので私も日本にいた時よりはっきりと伝えられるようになりました。
リスニング力が身についたと思います。全ての環境が英語なので、自然と身についたように思います。そして、周囲の友達の影響もあり、自分自身の意思と自信を持つことができ、人としても成長できたように思います。
一人のできる事が増えた。日本にいた時はあまり一人行動をせず周りに合わせていたが、ホームメイトの影響もあって1人でジムに行ったり地域コミュニティに参加したりして、活動の幅が増えた。
コミュニケーション能力。現地では話さないとわからない、話すことが基本になります。いやなことでも問題解決のためにはまず話さなければいけません。そのため、英語でのコミュニケーション能力が大きく成長しました。

## 留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

留学前は、文法や英語の表現を勉強し留学に行く準備ができた。留学中は、最初の方は上手く話すことができずモチベーションを保つことが難しかったけど学校で海外の友達と話すにつれ、周りの英語力が高かったのもっと英語力を上げたいと思うようになった。また、授業中いろいろなトピックについて学ぶ上でリーディング力やリスニング力も重要だったのでひとつひとつの授業を集中して取り組み、課題をしっかりとやることを心がけた。留学後も海外の友達と連絡を取っているので、英語力を向上させたいと思う。語彙力や英語の表現をもっと習得できるよう努力していきたい。

留学前は準備できることが単語や日常で使える英語を学習することだったのでその点に力を入れていました。留学中は、もちろん授業で出される課題はしていましたが、座学というよりは現地でしかできない英語でのコミュニケーションを大切にしておりました。そして、帰国後は、その英語力を落とさないよう TOEIC の学習などに力を入れております。

留学前は、英語が話せるようになりたいと思っていました。そして、留学中では、英語で他の学生たちとコミュニケーションをとっていくうちに、もっと話せるようになりたいと思いました。さらに、留学を終えてから、より Speaking と Listening に力を入れて勉強していきたいと思いました。

もっと英語を追求したい。

留学前はさほど語学学習に対するモチベーションは高くなかったが、留学先でうまく英語を話しているクラスメイトなどに刺激を受けてモチベーションが高まった。帰国後も大学で留学生との交流をしてみたいと思った。

留学中、まだまだ未熟だと落ち込むこともあったが、何か壁を一つクリアするごとに自信に繋がった。カナダという国を知った上で、他の国にはどのような文化があって違いがあるのか知りたくなったから英語の勉強を続けてまだここの国へ行きたいと思った。

留学中は周りの子たちが頑張っているのを見て私も頑張ろうというように思えた。留学後も留学中にできた友達とよく電話をするので、その子たちに負けないように英語を磨き続けようと思っている。

留学前は楽しみと実際行けばなんとかなるのではという軽い気持ちがあり、語学学習に対してやる気が起きませんでした。しかし、カナダに留学して友達が増えてくるとともにもっと沢山話したいと思うようになり英語に対するモチベーションが上がりました。将来の目標を具体的にもってカナダに来ている学生が多く、すごく刺激されました。留学後の今、私は沢山の国を訪れて色々な国の人たちとコミュニケーションを取りたいと思うようになり、モチベーションはさらに上がっているように思います。

留学前はやっとカナダ留学できる楽しみからで留学中はホストファミリーやクラスメイトと日に日に話せるようになる実感がモチベーションとなった。留学後は TOEIC TOEFL やまた留学したいと考えられに向けて頑張っている。

留学前:モチベーションはありましたが不安も大きかったです。 留学中:たくさんすることに興味を持ちどんな分野に対してもまずはやってみようモチベーションが高かったです。 留学後:もっと英語を習得したいとこれまで以上にモチベーションが上がりました

### 留学中 100%力を振り絞った瞬間

Speaking & Listening の授業で行ったプレゼンテーションでは、どのようにしたら聞き手に伝わりやすいかや発音などさまざまなことに気を付けながら準備を進めたので、特に頑張ったことだと思う。授業でプレゼンテーションをする際の重要なポイントを学んだのでそこを大事にして練習することができた。また、パワーポイントの作成や発表の際に使う動画の選択など自分のこだわりも持って作ることができた。本番では、伝えたいことをわかりやすく伝えるように心がけて発表することができた。プレゼンテーションは2回あって、1回目の時の改善すべき点を2回目では改善することができ、自分の実力を発揮することができた。

私が100%の力を振り絞った場面は、ホストファミリーの親戚が集まったホームパーティーの時です。そこには約20人の人がいましたが、私はほとんど全員初対面で、かつ英語で話さなければなりません。でも、もうこのような機会はこの時くらいしかないと思い、自分から話しかけたり、話してもらったときにはたくさん話を膨らませたりなど、現地ではできない体験でしたので100%の力を振り絞り勇気を出した行動をしました。

当たり前のことですが、課題を提出期限までに出すなど当たり前の事を当たり前にするようにしていました。

プレゼンで100%力を振り絞った。よりネイティブスピーカーのようにナチュラルに話しているように見せるため、適切な表現を選ぶ、抑揚に気を遣う、ユーモアを織り交ぜるなど様々な工夫をした。

アメリカのニューヨークの旅で、1人ケータイのWi-Fiも無い中知らない人をあてにしてどうにか地下鉄に乗ったり、ホテルまで移動したりした時に焦らずしっかり英語で私の意思を伝えられたことです。

最後の期末テストです。留学期間学んだことの集大成でしたので自主勉強にも力を入れて最後のテストはやり切りました。

100%力を振り絞った点は他国の学生とプレゼンテーションを一緒にしたこと。自分の考えを英語でそのまま伝えることに苦戦しました。

ペアワークでプレゼンで全て英語でペアの人とやり取りパワーポイント製作、相談を行った事。

重要な書類などについて学校外で英語で話をするとき留学生としてではなくお客さんとして店に行った時など、『留学生だから』が通用しないようなところでは100%の力で勇気を出し会話をしました。

### 留学先大学の良かった点

イベント等の料金が授業料に含まれていたのが気軽に申し込むことができ、沢山のイベントに参加することができた点がよかった。また、困ったことがあったら、インターナショナルセンターに行くときすぐに対応してくれて、解決してくれた。大学内のいろんな場所に飲料水を入れることができるマシンがあり、水を買う必要がなかったこともよかった。

留学先大学はイベントが充実していたところがとてもよかったと思います。ほとんど毎週土曜日にイベントがあり、学校周辺にはあまり遊ぶ津頃はありませんでした。そのイベントのおかげでたくさんの貴重な経験をすることができました。

たくさんの国から学生が来ていたので、それぞれの文化について知ることができたことが一番良かった点だと思います。

イベントが多い。日本人が少ない。施設設備が整っている。

毎週イベントに参加できたこと。留学生は参加費が学費に含まれているため、全て無料で参加することができた。

大学の半分はカナダ人でない移民や留学生なので、とても国際的な学校だった。そのおかげでたくさんの国の人に会ったし、文化を知ることができた。

イベントが多く、友達を作る機会も多くあったところ。

良かった点はたくさんイベントがあったことです。

ナイアガラ大学の良かった点は治安が良く、学生や先生はもちろんのこと、地域の方たちの人柄がとても良かったところです。すごく恵まれた環境で留学することができました。

イベントが多く観光などたくさんできて良い。先生も陽気な人が多いので楽しい。

イベントが多く、沢山の人がつなげる機会が多かった点